

琉球大学学術リポジトリ

調査回答書： アンガウル医院長 本間喜代松

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄, 南洋, 人口, 調査, アンガウル, 医療・衛生 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/37976

矢内原忠雄文庫

史料名	矢内原作成「南洋群島島民人口状態に関する質問書」への回答 アンガウル医院長 本間喜代松
封筒番号	130
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 10 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：130

史料名	矢内原作成「南洋群島島民人口状態に関する質問書」への回答 アンガウル医院長 本間喜代松
資料形態	矢内原送付の質問書
枚数	5
頁数	5
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 今泉分類記号：N

本解各中凡俗習慣等(及住宅)沿革(商)シテハ終部補林高造氏(在勤五年以上)立命ノモトニ本島民ノ村長タルオケラパラオ及元巡警官アシヨニ聞合セテテテテトモナリ
 昭和七年十月五日 南洋駐アノカウル医院長 本間 喜代松

南洋群島島民ノ出生率低キ事、死亡率殊ニ乳兒死亡率高キ事ノ原因に關シテ各埠に御解答下シ(島民トシテ死シテ七車高キト云フ事)

質問事項 頂

一 住宅

1. 床ハ土間ナリヤ
 2. ソノ海ニ床ノ濕ル事ナキヤ
 3. 大雨ノ際家内ニ水ノ溢ル事ナキヤ
 4. 使用水ヲ床ノ上ニコボス事ナキヤ
 5. 風雨ヲ防グニ充分ナリヤ
 6. 極端ナル密閉(窓ノ少イ事等)ガ認メラレカ
 7. 室内ニテ焚火ノ習慣アリヤ(蚊遣、炊事等)
 8. 病毒若ハソノ傳播ノ原因ナル害虫類(蠅、蚊、南ノハ、蠅、蚊等)ヲ養フ事ナキヤ
 9. 壁、床ニ處構ハズ唾ヲ吐キカケル習慣アリヤ
 10. 家人ノ雜居狀態、一戸ハ概ネ一室ナリヤ、如何ナル程度ノ廣サナリヤ、一戸ニ何人住居スルヤ
 11. 一戸ニ數家族雜居スル事アリヤ
 12. 男ト女ト住居ヲ區別スルコトアリヤ(端屋等)
 13. 犬、豚等ノ畜養ト同居スル事アリヤ
 14. 住家ノ建て方が密集シテスル事ナリヤ
 15. 大小便ノ通常如何ナル場所ヲ行ハレカ(海邊、小舎内、又ハ附近ノ通路等)
 16. 島民ノ共同便所ト男女女子供全テ共同ナレトシテ如何ナリヤ
 17. 共同便所ニテ、官命令及ヒ其利用程度如何ナル方策ヲ適當トスルカ
 18. 改善ノ努力カトシテ如何キヤ、如何ガ(官ノ施設、島民ノ模倣、教育及宗教ノ效果等)
 19. 以上ノ外住宅ニ付キ衛生上注意スベキ事
- 二 衣服
1. 官廳、學校、病院、宗教家等ニ於テ衣服着用ヲ獎勵スルカ
 2. 島民ノ衣服着用ハ次ノ如キ言フ事ガ認メラレカ
1. 皮膚ヲ柔弱ニスル事
 2. 風邪、肺結核ノ原因トナル事
- 三 皮膚
1. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 2. 口、凡部等因トナリトナリトス、從テ肺結核モ多ク、因トナルコトヲ思ハレドモ、直接ニ傳染トシテ思フ、即チ裸体ノ着衣ノ結核トシテ思フ
 3. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 4. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 5. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 6. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 7. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 8. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 9. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 10. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 11. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 12. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 13. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 14. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 15. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 16. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 17. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 18. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ
 19. 皮膚ヲ抵抗カヲ減ズルコトハアリト思フ



- ハ、塵埃、病氣、運搬者タル事
- 3. 商人、宣教師ナド古着類ヲ輸入セシキナリヤ
- 4. 輸入セシキ衣服ガ天然痘、肺結核、皮膚病等ノ病氣ヲ媒介傳播セシキ事ナキヤ
- 5. 衣服着用ノ習慣ガ衛生上好結果ヲ齎スト認メラレル莫如何
- 6. 農民、労働者ガ労働ニ従事スル際身体(特に下肢)脚保護ノタメニ衣服ヲ特別ニ必要トスル事アリヤ

三、食物

A. 食物

- 1. 食物ノ種類又ハ其調理法ガ保健、生殖、育兒ニ對スル影響上、單調、偏頗ナル事ナキヤ
- 2. 食事時間、規則的ナリヤ(日何食ナルヤ)
- 3. 乳兒ノ保育ハ母乳ニ依ルカ、牛乳、豆乳等ニヨル習慣アリヤ
- 4. 不作、飢饉ガ營養、罹病率、死亡率等ニ對シテ、テ影響スル事ガ認メラレルカ
- 5. 不作時ニ備フル為メ收穫、貯藏ノ習慣アリヤ
- 6. チヤモロ族ニ脚氣ガ認メラレルカ

B. アルコール

- 1. 島民ニ如何ナルアルコール飲料ヲ用フルカ在來酒ト輸入酒ト何ト好ミ何ト多ク飲用スルカ
- 2. 輸入酒ハ衛生上特ニ不適當ナル成分ヲ有スル事ナキカ
- 3. アルコールノ飲用ガ島民ニ對シテ、如何結果ヲ齎ス事ナキヤ
- 4. 雨親ノ体質ヲ弱メ、引イテ子供ノ救、及ヒソノ体質ニ害ヲ與ヘル事
- 5. 急性並ビニ慢性ノ傳染病ニ對スル抵抗力ヲ弱メル事
- 6. 殊ニ肺結核ニ對シテハソレニ對スル抵抗力ヲ弱メ、其傳播ヲ促進シ、又病人ノ病勢ヲ昂進スル事
- 7. 島民ノアルコール含有飲料ノ製造ガ食糧ノ損失引イテハ飢饉ヲ齎ス如キ事ナキヤ

ハ、ナシ

- 3. ナシ
- 4. ナシ
- 5. 保潔ノ調節(殊ニ疾病、障)及ヒ外傷ヲ防グニ効アリ、要スルニ島民ノ衣類ニ着用ハ、利害アリ、少モ着用セザルヲ利トストハ、斷ジ難シ
- 6. ナシ

1. ナシ

- 2. 規則的ニ食ス(朝七時、夜七時、夕六時、夜)
- 3. 牛ト母乳ヨリ、五月後位ニ時ニ椰子汁ヲ飲マシ、十月前後ヨリ種々ヲ糞ヲ糞フルコト日本ト大差ナシ
- 5. ナシ
- 6. 当地チヤモロ族ニハナシ

- 1. 禁止サル(C)ニ委任統治全島(ニシテ)島民トシテ輸入酒(日本産、殊ニ燒酎)ヲ好ム傾向アル如シ
- 2. 禁止セラル、故答ノ要ナシト思フ

3. 嚴重ナル禁酒規則ヲ施カレ、故、只、(事實ナシ)

4. 製造ヲ禁止サル、故、同、如キ事實ナシ

3
四 結婚、性交、婦人、子供、地位

1. 結婚年齢、通常男女何歳位ナリヤ男女両性、未成熟ノ子供ガ性交ノ秘密ノ負ル事ナキヤ
2. 成年男子ガ性交目的ニ未成熟ノ少女ヲ濫用スル事ナキヤ
3. 未成熟ノ妊娠能力ナキ少女ガ成年男子特ニ生殖能力ナキ老人(酋長等有力者)ト早期ノ結婚ノ事ナキヤ
4. 一夫一婦制ハ嚴格ナリヤ、一夫多妻、若クハ多夫一妻ガ認めラレルカ
5. 成年男子又ハ女子ガ配偶者ヲ得ルニ困難ナル如キ事情アリヤ(社會制度上、男女人口数、其例上等)
6. 島民相互間ニ責任ノ習慣ガ認めラレルカ、一ト一トノ別、島民ト非島民間ニ性的關係ノ結バル事多キヤ(例、船人ガ島民婦女ニ接スル等)
7. 島民ト性的慾望特ニ強キ事ガ認めラレルカ(肉慾的欲求)
8. 性交ガ認めラレルカ
9. 墮胎ノ習慣アリヤ、アリトセバソノ原因如何(性的力經濟的)
10. 嬰兒殺害ノ習慣アリヤ、アリトセバソノ原因如何(永久的な難有カ多ク認めラレルカ、アリトセバソノ原因如何)
11. 公然又ハ秘密ニ蓄妾ノ習慣ガ認めラレルカ
12. 出生ノ際ニ於ケル姉妹及兄弟ノ保護上特ニ如何ナル扶助アリヤ
13. 乳兒並ニ兒童ノ保育上特ニ如何ナル扶助アリヤ(定期間(長期間)ノ性交ヲ禁止スル習慣ナキヤ、アリトセバソノ原因如何)
14. 村・組合ナドケ一人ニ子供ヲ持タストムル義務ヲ相互的ニ負フ等トムル習慣アリヤ
15. 一種族、若クハ一オ族内ノ血族婚姻ノ習慣ガ認めラレルカ
16. 文身ノ習慣、死亡率ニ何カノ影響ガアルカ

1. 昔男二十三才(ヒカガ茂生スル時)迄トス、女十六才ナリ、今ノ男十六才(稀ニ十五才モアリ、三才迄未婚ノ婦リ)、女十五才ナリトナリ、以テ何モ日本式ノ教ヘキトス、但シ法律上ハ男十七才、女十五才ニ達セザルハ許可セズ、女子ノ月経ハ十三才ニ初潮ヲ見ル、此迄絶対男ヲ接セズ(性交ナシ)、男十三才位ニ女子ニ接スルモノアリ
2. ナシ
3. ナシ
4. 一夫一婦制ナルモ夫又ハ妻カ他ノ異性ト密交スルハアリ、~~他ノ~~文明國ト大差ナシ
5. 結婚ハ普通五田乃至百田島民貨幣(色ハハ蠟石標)モシテ要スル故多ク困難ナルコトアリ、階級制ガイタノ拘キ方ヲ得ラレヌコトモ、絶無ニラヌ
6. 絶無ニアラハルモ火
7. 女カス(島民女子)文明人ノ男子ヲ好ム傾向アリ
8. 淫レト思フ(但シ群島内トシ他島カ激シカラズ)
9. 認めラレル(歐モ日本人ハ乱交ノ如シ)
10. 絶対ニナシ
11. 絶対ニナシ
12. 不妊者ハアリ、日本ト大差レト思フ(原因研究中ナリ)
13. 昔ハアリレモ今ハナシ
14. 向ハ妊婦及出生時ノ母体取扱上ハ扶助アリヤナラ、昔ハ全ク非技術的ニテ母及子ニ差ナシ、死生看守シモ近時大却テ取扱フ故扶助シ但シ的ニテ名程ノ却落、母ノ習慣ニシテ故時ニ不幸ノ轉換ナリトモトアリ
15. 特ニ大ナレ欠陥ナレト思フ
16. 産後七ヶ月ニ産後(昔ハ十月)性交ヲ禁ズ、殊ニ産後ハ厳重ナリ、昔ハ母、北ハ一年ノ異ナリ(年性交ヲ避ケルカ今ハ此習慣殆止セラレタリトシ月経中、性交ヲ避ケルモノ日本ニナシ)
17. 子供有無ニ何モナシ、權利義務生スルコトナシ
18. 他種族(チヤモロト)カ如キトハ避ケ、血族結婚モ避ケルコト日本ト同程な位ナリ
19. 外見上影響ナシ、學術的ニ皮膚病ヲ發見ス

五. 労働

- 1. 男子ハ比較的遊惰ニシテ女子ノ労働ハ比較的過重ナル如キ習慣ガアルカ
- 2. 耕作労働 家庭労働 運搬労働等ガ婦人体力ヲ弱ラシメル 如キ事ハナキヤ
- 3. 島民労働者ノ出稼ガ行ワレルカ (特ニアングウルニ対シ) 又行ハレルバ ソノ出稼キ期間ノ長サ如何島民出稼キノ結果トシテ 次ノ如キ現象ガ認めラレルカ

昔ハ男子ハ漁獵位ニテ他ハ一節女子ノ勤勞トシテ今ハ主トシテ男子ハ外部ノ労働ニ従事シ女子ハ家事有見ノトニ從フ

- 3. アングウル島民カ他ニ出稼ニ出ワレルコトナシ (昔年男子ノ約三割以上採鈔所ニ働キ居リ)
- 4. 了ニコリテ不認ス

1. 耕地ノ荒廢

口 家族生活ノ破壊

ハ 離婚 Polygamieノ増加

ニ 出生率ノ減少 兒童死亡数ノ増大

ホ 賣淫 墮胎 梅毒ノ増加

ヘ 性病 肺結核ノ蔓延

ト 婦人 兒童 労働ノ増大

チ 過激者クハ不慣レノ労働ノタメ 上人労働者ノ死亡ノ數增加セシコトナキヤ

6. サイパンノ製糖業及アングウルノ鑛業ノ島民労働者ノ保健上ニ如何ナル影響ヲ及ボスカ

六. 迷信

- 1. 性生活 夫婦生活ニ於ケル迷信的慣習 食物ニ関スル迷信的慣習ガ出生率 死亡率ニ何等カノ作用ヲ及ボスト認めラレルモノガアルカ

ハ 貧血ニアササレモ若シカラス (吸リテラハ 速クハトノコトモナシ)

七. 雜

- 1. 次ノ諸項ハ人口増加率ノ小ナルコトノ原因トシテ作用スルコトヲ認めラレルカ

イ 土地ノ狹隘 交通ノ不便等 經濟生活ノ基礎ガ小ニテ多數ノ人口ヲ島内ニ支持シ難キコト

ロ 酋長ヲ中心トシテ舊民族的社會制度ノ遺習

ハ 新文明トノ接觸ニシテ島民ノ精神的 物質的 生活ノ急變

2. 元島民ノ共有ニ屬シタル狩獵地 放牧地 海岸地ガ墾墾民ノ私有地ニ變リタルコトアリヤ 又官有地トナサレシコトアリヤ

ハ 採鈔採糖區域ヲ大ニシテ耕地域ヲ小ニシテ差アリシレバ 島民ノ食料ヲ脅カセテアカウリ 差分ケニテハ 島民ノ食料ヲ獲ラレシトシ 採鈔難シ 但シ時ニハ 採鈔者ヲ末ヌカニ知シヌ

ロ 採鈔者ナシト認ム

ハ 採鈔者ナシト認ム

3. 出生率、死亡率、影響受ル病氣ハ主トシテ外来病
トシテ、或リトセバ其傳播ノ系統如何(スペイン時代、
ドイツ時代又ハ日本時代ノ何レニ輸入セラレタカ
又ハ多クナリタカ又何處ヨリ輸入セラレタカ)

イ、天然痘
ロ、寄生虫病
ハ、フアムバシヤ

ニ、傳染性ノ腸ノ病氣
ホ、性病 主トシテ淋疾ナリ、獨ニ時代支那人苦カヨリ
ト、肺結核 輸入ナリ、日本人果島ニヨリ多ク其救ヲ増セシメ
ト、イ、コレラ中毒
ト、イ、コレラ中毒

四、特ニサリア、支那人、苦カヨリ傳播セラレタ等
認ラレルノ病氣アリヤ
五、島民ノ體質(素質)ハ人口増加ニ産生的ニ劣等ナ
ルコトガ認ラレラカ(保護、指導、イリテ今後人口
増加率ヲ高メルコトガ出来ルカ否カ)

六、イ、モロトカト人口増加率ノ相違ニ原因
如何
イ、體質上ノ差等カ
ロ、生活程度ノ差等カ

ハ、從來外國文明ノ感化ヲ受ケレ程度ノ差等カ
七、舊來ノスペイン、ドイツ、印人等外来勢力ノ殲滅
史述ニケルコトガ島民ノ人口動態ニ何等カノ影響
ヲ及ボシタカ

八、日本統治後ハ維新時代ニ比シテ衛生上如何ト
變化ガアツタカ、如何ナル病氣ガ増加シ、如何ナル
病氣ガ減少シタト認ラレラカ、出生率、死亡率
乳兒死亡率、改善セラレタト認ラレラカ

九、人口自然増加率ノ低キコトニ對シテハ出生ノ低
率ト死亡ノ高率ト何レガヨリ重大ナル原因
リト認ラレラカ

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

3. 出生率、死亡率、影響受ル病氣ハ主トシテ外来病
トシテ、或リトセバ其傳播ノ系統如何(スペイン時代、
ドイツ時代又ハ日本時代ノ何レニ輸入セラレタカ
又ハ多クナリタカ又何處ヨリ輸入セラレタカ)

イ、天然痘
ロ、寄生虫病
ハ、フアムバシヤ

ニ、傳染性ノ腸ノ病氣
ホ、性病 主トシテ淋疾ナリ、獨ニ時代支那人苦カヨリ
ト、肺結核 輸入ナリ、日本人果島ニヨリ多ク其救ヲ増セシメ
ト、イ、コレラ中毒
ト、イ、コレラ中毒

四、特ニサリア、支那人、苦カヨリ傳播セラレタ等
認ラレルノ病氣アリヤ
五、島民ノ體質(素質)ハ人口増加ニ産生的ニ劣等ナ
ルコトガ認ラレラカ(保護、指導、イリテ今後人口
増加率ヲ高メルコトガ出来ルカ否カ)

六、イ、モロトカト人口増加率ノ相違ニ原因
如何
イ、體質上ノ差等カ
ロ、生活程度ノ差等カ

ハ、從來外國文明ノ感化ヲ受ケレ程度ノ差等カ
七、舊來ノスペイン、ドイツ、印人等外来勢力ノ殲滅
史述ニケルコトガ島民ノ人口動態ニ何等カノ影響
ヲ及ボシタカ

八、日本統治後ハ維新時代ニ比シテ衛生上如何ト
變化ガアツタカ、如何ナル病氣ガ増加シ、如何ナル
病氣ガ減少シタト認ラレラカ、出生率、死亡率
乳兒死亡率、改善セラレタト認ラレラカ

九、人口自然増加率ノ低キコトニ對シテハ出生ノ低
率ト死亡ノ高率ト何レガヨリ重大ナル原因
リト認ラレラカ

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。

⊗ 或ル人種ニシテ其人口ノ増加率ノ高低ヲ早
ナレハ終テ生物ニ夫々異ナリタル寿命(生存期間)アリ後ニ之ヲ
異ナリタル寿命アリテ、夫々人種ハ永年教ナルニモセヨ
或ハ早ク或ハ遲ク生存ノ期間アルコト政府各
國ノ統計ニヨリテモ知ルコトヲ得ル、依テアル人種ハ其
優劣カナル民族ヲ成ルコト永ク其優劣ヲ維持スルタリ、
又ハ衰退ニ陥レル民族ヲ成ルコト減シテ其現
カランコトスルモノニシテ、兩民族カ同一地上ニ共存スル
場合、例ハチヤモロ放トカナ放トノ人口増加ノ早キ比較
シテ其原因ヲ個人生活及生活状態等ニシテ、ボメントスル
學等ニ希クハ東大教授永井潜博ナリ御意見ヲモホシ
テコトヲ記ス。